

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年12月 日

協賛会名: 蒲城市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フリーダー系統

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	<p>【系統名、航路名、駅名、運行(船)区間、整備内容等】                  左回リルートA(コトリーナ経由なし)                  右回リルートA(コトリーナ経由あり)</p>	<p>【事業評価の評価対象期間に                  関係する事業評価結果                  について、前回の事業評価結果                  をもとに生活交通確保                  維持改善計画に反映させた上で                  事業を実施したかを記載】</p>	<p>【計画に基づき事業が適切に実施され                  たかを記載。計画どおり実施され                  なかった場合は、理由等記載】</p>	<p>【達成状況】                  目標:年間利用者4,800人                  実績:6,003人</p>	<p>【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善点は、                  事業の取り組みだけでなく、地域の取組の進捗状況について関係                  機関、特に、関係機関を生活交通確保維持改善計画にこのよう                  に反映させるか(方向性)又は具体的な内容を必ず記載するこ                  と】                  ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載</p>
豊鉄タクシー株式会社	<p>左回リルートA (コトリーナ経由なし)                  右回リルートB (コトリーナ経由あり)                  右回リルートA</p>	<p>【事業評価の評価対象期間に                  関係する事業評価結果                  について、前回の事業評価結果                  をもとに生活交通確保                  維持改善計画に反映させた上で                  事業を実施したかを記載】</p>	<p>計画通り事業は適切に実施できている。                  A</p>	<p>【達成状況】                  目標:年間利用者1,600人                  実績:1,971人</p>	<p>【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善点は、                  事業の取り組みだけでなく、地域の取組の進捗状況について関係                  機関、特に、関係機関を生活交通確保維持改善計画にこのよう                  に反映させるか(方向性)又は具体的な内容を必ず記載するこ                  と】                  ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載</p>
豊鉄タクシー株式会社	<p>駅・病院先発ルート                  左回リルート                  右回リルート</p>	<p>【事業評価の評価対象期間に                  関係する事業評価結果                  について、前回の事業評価結果                  をもとに生活交通確保                  維持改善計画に反映させた上で                  事業を実施したかを記載】</p>	<p>計画通り事業は適切に実施できている。                  A</p>	<p>【達成状況】                  目標:年間利用者1,400人                  実績:1,583人</p>	<p>【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善点は、                  事業の取り組みだけでなく、地域の取組の進捗状況について関係                  機関、特に、関係機関を生活交通確保維持改善計画にこのよう                  に反映させるか(方向性)又は具体的な内容を必ず記載するこ                  と】                  ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載</p>
豊鉄タクシー株式会社	<p>公民館・三谷駅北口始発                  ルート                  (三谷公民館発)                  西回リルート                  (三谷駅北口発)                  東回リルート</p>	<p>【事業評価の評価対象期間に                  関係する事業評価結果                  について、前回の事業評価結果                  をもとに生活交通確保                  維持改善計画に反映させた上で                  事業を実施したかを記載】</p>	<p>計画通り事業は適切に実施できている。                  A</p>	<p>【達成状況】                  目標:利用者2,200人                  実績:3,443人</p>	<p>【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善点は、                  事業の取り組みだけでなく、地域の取組の進捗状況について関係                  機関、特に、関係機関を生活交通確保維持改善計画にこのよう                  に反映させるか(方向性)又は具体的な内容を必ず記載するこ                  と】                  ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載</p>
豊鉄タクシー株式会社	<p>おしほく地区支線                  大塚地区支線                  大塚地区支線                  大塚地区支線</p>	<p>【事業評価の評価対象期間に                  関係する事業評価結果                  について、前回の事業評価結果                  をもとに生活交通確保                  維持改善計画に反映させた上で                  事業を実施したかを記載】</p>	<p>計画通り事業は適切に実施できている。                  A</p>	<p>【達成状況】                  目標:利用者1,650人                  実績:1,765人</p>	<p>【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善点は、                  事業の取り組みだけでなく、地域の取組の進捗状況について関係                  機関、特に、関係機関を生活交通確保維持改善計画にこのよう                  に反映させるか(方向性)又は具体的な内容を必ず記載するこ                  と】                  ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載</p>

# 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年12月 日

協議会名：	蒲州市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内ファイダー系統
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>第五次蒲州市総合計画においてあげられた「子どもや高齢者らが安心して移動することのできる公共交通体系の確立」、「地域で創り、守り、育てあげる持続性の高い公共交通体系の形成」を目指し、公共交通体系を一体的に改善することを目標とした地域公共交通計画を令和3年6月に策定した。当該計画の将来像等は、平成28年3月に策定した前地域公共交通網形成計画を踏襲し、交通ネットワーク網の維持・拡充を進めている。</p> <p>計画の中で位置付ける取り組みとして、「鉄道を中心とした交通ネットワーク網の維持確保と交通空白地の解消」、「関係者間の連携強化による事業推進」を基本的な方針として掲げ、地域内ファイダー系統に関する計画の目標としては、「住民のニーズをふまえた公共交通ネットワーク網の維持拡充」「交通空白地解消のために導入した支線バスの適正な運行管理」等を設定している。</p> <p>これら地域交通計画で定めた将来像・基本的な方針・計画の目標(施策事業)を通して、地域公共確保維持改善事業の支援を受けて、「交通空白地解消のための支線バス(ファイダー)」の運行を進める。</p>

令和5年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価 概要（全体）

## 蒲郡市地域公共交通会議 (蒲郡市)

平成25年3月1日設置

令和3年6月 蒲郡市地域公共交通計画策定  
(計画期間：令和3年6月～令和8年3月)

令和4年6月30日 ファイダー系統 確保維持計画策定等  
(令和5年3月6日 変更計画)

令和5年12月 日 令和5年度評価結果送付

# 1. 【Plan】 協議会等が目指す地域公共交通の姿

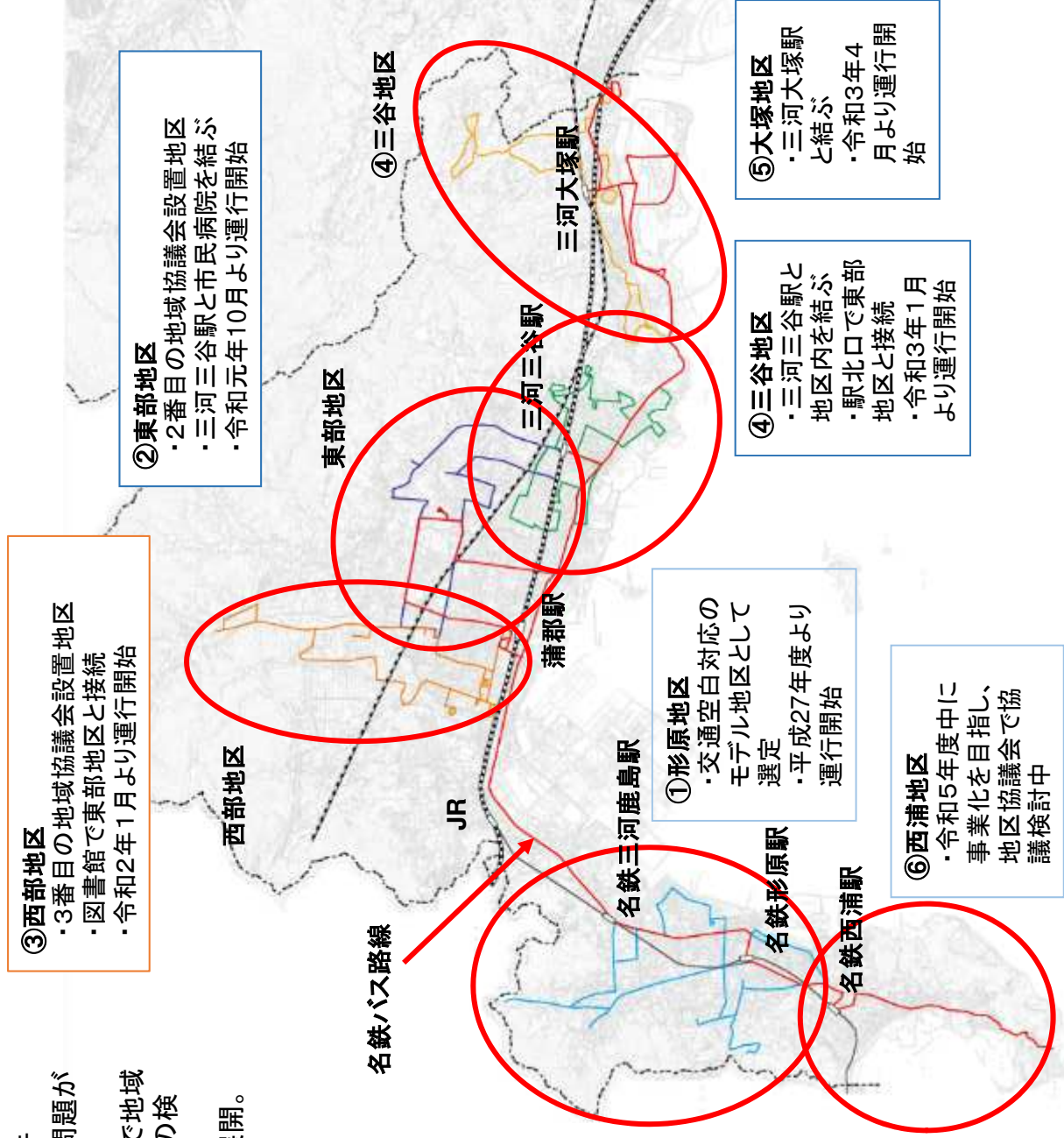
## ■ 公共交通ネットワークイメージ

### 蒲南市全体の交通網

- ・平野部・臨海部に鉄道、路線バスが運行
- ・山間部を含むその他エリアで交通空白問題がある。
- ・交通空白問題地区において、地元主導で地域協議会が設置された箇所は、支線バスの検討・路線設置を行う。
- ・①形原⇒②東部⇒③西部地区の順に展開。
- ・令和3年1月：④三谷地区で運行開始。
- ・令和3年4月：⑤大塚地区で運行開始。
- ・現在、⑥西浦地区で新事業検討中。

### ■ 新地域公共交通計画の将来像及び期間

- 将来像
  - ・子供や高齢者らが安心して移動することのできる公共交通体系が構築されている。
  - ・地域で創り、守り、育てあげる持続性の高い公共交通体系が構築されている。
- 計画期間：令和3年度～7年度（5カ年）
- 公共交通の基本的な方針
  - 鉄道を中心とした交通ネットワーク網の維持確保（交通空白地解消等）
  - 関係者間の連携強化による事業推進（利用促進活動等）



## 2.【Do】目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組


3

### ■ 目標を達成するために行う事業

※地区支線バス＝ファイダー補助路線（交通空白）

計画の主な目標	主な事業
交通ネットワーク網の維持確保・交通空白地解消	にしがま線（名鉄西尾線・蒲郡線）げんき戦略の推進、地域主導による地元協議組織の組成（形原・東部・西部・三谷・大塚・西浦地区）等
関係者間の連携強化	名鉄西尾・蒲郡線に関する西尾市・名鉄との三者連携合意に基づく共同イベント開催。東三河全体で、公共交通利用促進イベント実施等
持続性ある公共交通の確保	バスの乗り方教室、イベントでのバスPR・乗車体験、広告収入の確保、オープンデータ化（GTFS-JP）対応等

### ■ 実施してきた主な取組

 名鉄西尾・蒲郡線  
（市民まるごと赤い電車応援団等）

#### 1) 利用促進活動

- ・ 第8回ぶらりんウォーク開催（R4/11/26）参加者数 約120人
- ・ 名鉄でんしゃまつり（R5.4.22）
- ・ にしがま線絵画コンクール開催（R5/7-8）応募349点、入選100点
- ・ 復刻塗装列車発車式（R5/9）

#### 路線バス

- 1) PR活動
  - ・ 公共交通マップの作成・配布（R5/4）
  - ・ 蒲郡まつりでのPR・乗車体験（R5/7）
  - ・ 東三河小学生50円バス・謎解きゲーム（R5/7-11）50円バス利用者9,519人、ゲーム応募者161人



## 2.【Do】目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

4

### 支線バス（新規実施）

- 1) 支線バスの運行協議（西浦地区）
  - ・ 西浦地区公共交通協議会（R4/5/12設立）
  - ・ 令和5年度中の運行開始に向けて協議中
  - ・ ルート、ダイヤ案を設計し、路線バス事業者との協議調整済み
  - ・ 令和6年春に運行開始予定

西浦地区協議会での協議風景



- 2) 形原地区：ぬりえ大会の開催
  - ・ 令和4年11月2日 形原中学校にて
  - ・ コミバスを知ってもらう・触れてもらう機会としてぬりえ大会を開催
  - ・ 形原3保育園：47名
  - ・ 公民館にぬりえ作品を展示

形原地区：ぬりえ大会（R4/11/2）



大塚地区：ベンチ贈呈式（R5.2.7）

- 3) 大塚地区：ベンチ贈呈式（地域支え合い座談会）
  - ・ 令和5年2月7日 蒲郡東部病院にて
  - ・ 地域支え合い座談会のバス体験乗車・話し合いを機に、地区の社会福祉法人がベンチを作成・寄贈、蒲郡東部病院が設置・管理という地域主体での待合環境の改善の取組み実施



## 2.【Do】目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

### 支線バス（新規実施：続き）

#### 4）形原地区利用促進事業：年間5千人達成

- ・ 令和5年2月17日に達成。
- ・ 地区協議会による達成イベント・記念品授与の実施

形原地区：年間5千人達成イベント  
(感謝状授与R5/2/24)



#### 5）事業拡大：週4便への変更

- ・ 令和4年4月の形原地区に続き、東部・西部・三谷・大塚地区においても令和5年4月から金曜日の運行を開始（週4日運行化）

#### 6）西部地区支線バスのルート見直し

- ・ 地区協議会の検討により令和5年4月からルートを変更、柏原地区まで延伸

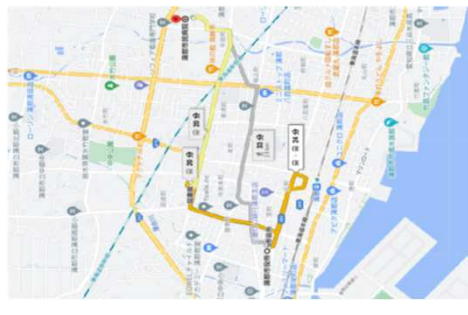
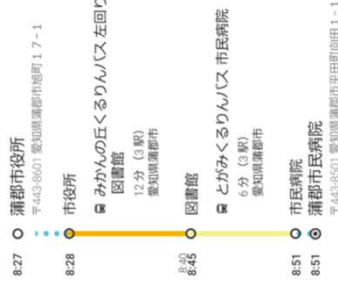
### タクシー制度（継続実施）

- 高齢者タクシー運賃助成事業
- ・ 令和5年度分のチケット配布  
R4年度実績：利用枚数56,171枚  
助成額14,877千円

- 福祉タクシー運賃助成事業

### 支線バス（継続実施）

- 地区支線バスのGTFS-JP（オープンデータ化）



切符などの情報  
愛知県蒲郡市・0533-66-1156

ルートおよびその他の情報は非営利情報としてご利用ください。これらの情報は、蒲郡市会や工事、天候等の影響により実際の状況とは異なる場合がございます。時刻は一部の路線や季節情報に基づいてご確認ください。

形原・東部・西部・三谷・大塚地区について運行開始に合わせ対応

- 車体・バス停への広告



利用開始日	年 月 日
利用終了日	年 月 日
利用枚数	
利用金額	
利用枚数	
利用金額	
利用枚数	
利用金額	

利用開始日：令和5年4月1日～ 令和5年3月31日

利用終了日：令和5年3月31日

利用枚数：56,171枚

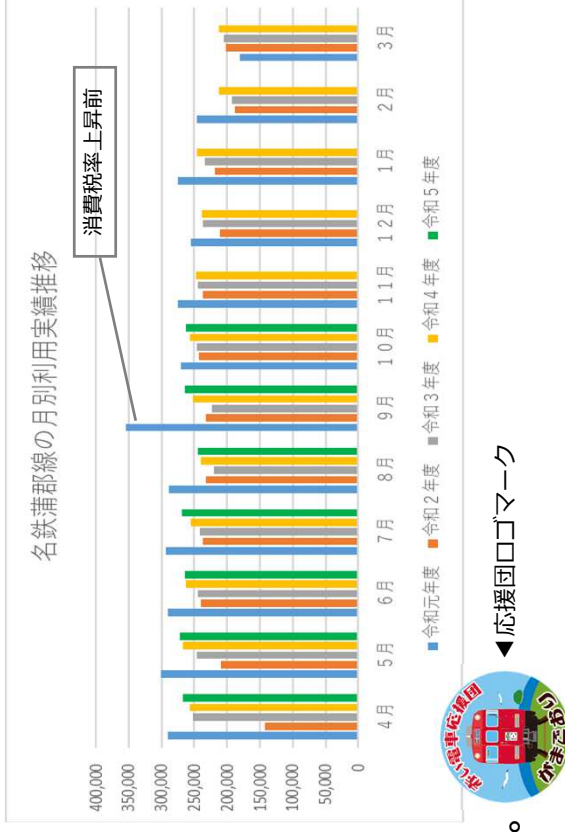
利用金額：14,877千円

### 3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

#### ■市の交通ネットワーク全体の評価【鉄道（名鉄蒲郡線）】

- 将来目標：2025年時点での利用者数 = 155万人/年
- 実績：R3年度 = 1,253千人  
R4年度 = 1,341千人 **目標未達成**

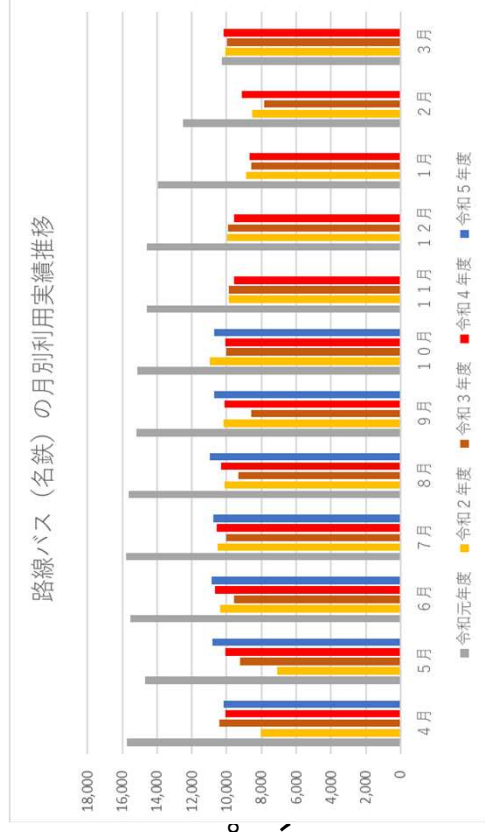
- ・ コロナ禍以降回復基調も、元通りの回復は困難。
- ・ 通勤利用については働き方の多様化の影響が考えられるが、通学利用についても全線と比べて回復鈍い状況となっている。定期外はイベント等の活発化もあり回復しているが、コロナ禍前水準までは至らず。



#### ■市の交通ネットワーク全体の評価【路線バス】

- 将来目標：2025年時点での総利用者数 = 16万人/年
- 実績：R3年度 = 113,321人  
R4年度 = 119,017人 **目標未達成**

- ・ コロナ禍の運行便数削減により、大幅な利用者減少。R4年度以降利用者数はわずかに増加傾向ではあるが、コロナ禍前と比較して、継続する減便状態に比例して利用者数も減少したままの状況となっている。
- ・ R4年度は西浦系統は微増したが、運行便数の少ない丸山系統は微減となっており、利便性低下の影響が考えられる。





### 3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

#### ■ ネットワークに接続する「フィードャー系統の評価」

路線	年間利用者数		達成状況	収支率		達成状況
	令和5年度 (目標)	令和5年度 (R4/10~R5/9実績)		将来目標 (2025年時点)	令和4年度 (R4/4~R5/3実績)	
形原地区支線バス	4,800人	6,003人	達成	10%以上	10.8%	達成
東部地区支線バス	1,600人	1,971人	達成	10%以上	5.4%	未達成
西部地区支線バス	1,400人	1,583人	達成	10%以上	5.9%	未達成
三谷地区支線バス	2,200人	3,433人	達成	10%以上	8.4%	未達成
大塚地区支線バス	1,550人	1,765人	達成	10%以上	5.1%	未達成

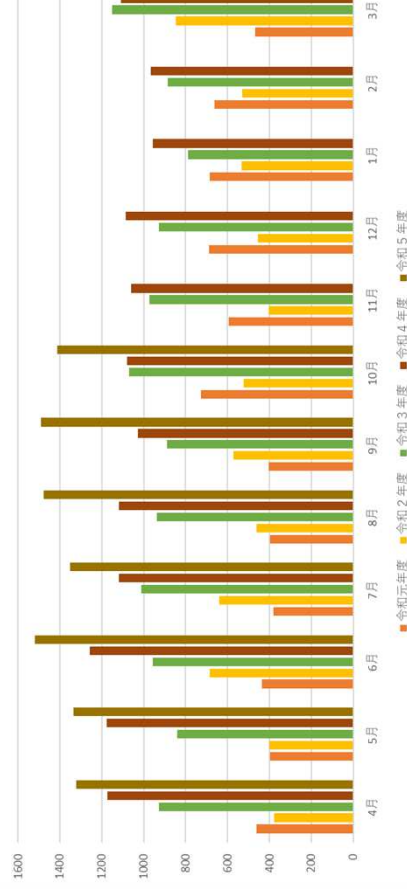
#### ○ 利用者数

- ・ R5年度は全ての地区で昨年度から増加し、目標設定に対しても、全ての地区で達成した。
- ・ R5年4月から形原地区を除く4地区で週4日運行化したことにより利用者が増加している。

#### ○ 収支率

- ・ 形原地区は運行日増加による費用増加のため、数値悪化したものの、定着した利用があり達成。
- ・ 三谷地区について、未達成であるものの、順調に利用増加しており、大幅に上昇した。
- ・ その他地区においても、週4日運行化による利便性向上により利用者が増加している。
- ・ 収支改善事業として行う停留所広告事業による収入額の影響が大きい。形原・三谷地区で多い。

支線バスの月別利用実績推移（全体）



フィードャー系統全体の利用動向

<自己評価から得られた課題>

- ①鉄道 = 利用者数は回復基調もコロナ禍前までの回復は困難。利用促進、誘客対応の継続が必要。
- ②路線バス = 系統ごとに回復状況に違いが出ている、減便による利便性低下の影響が考えられる。  
サービス維持・見直しについて協議が必要。
- ③ライダー = 週4日運行化で利便性が向上、これに伴い利用者増加している。  
= 地区ごとに達成状況に差異があるため、周知・利用促進の継続によりさらなる利  
用増が必要。  
= 既存路線増加傾向が続く。交通網全体を強化すべく新たな空白地対策も進める。



<今後の取り組み>

①鉄道の対応

- ・ 【通年】 市民まるごと赤い電車応援団等による利用促進活動を継続実施。
- ・ 【令和6年度中】 事業者・関係団体と協働してイベントを通じた利用PRを推進。

②路線バスの対応

- ・ 【通年】 事業者と協議を行い、利用者減の食い止めと現行のサービス水準の維持を目指す。
- ・ 【令和6年度中】 便数・利用が少ない系統をはじめとした、交通ネットワーク見直しの検討協議。

③ライダー系統の対応

- ・ 【通年】 5地区でのモニタリング・PDCAの実施による適正運行の継続。
- ・ 【令和6年度中】 利用の低い地区においては、より一層の周知を図っていくとともに、地域における利用促進の取り組み強化を進める。
- ・ 【令和6年度中】 西浦地区での運行開始。塩津地区での新規事業化協議を進める。

★令和3年6月に蒲郡市地域公共交通計画を策定。計画に基づく事業推進。

<p><b>直近の二次評価結果</b> (令和5年3月) 調査事業・計画策定</p>	<p><b>事業評価結果の反映状況</b> (具体的対応内容)</p>	<p><b>今後の対応方針</b></p>
<p>&lt;令和5年3月10日付151号通知&gt;  <b>○評価できる取組</b>                      ・「夏休み小学生50円バス」や「バス整理券ラリー&amp;歴史謎解きゲーム」、「夏休み路線バス探検キヤラバン」などを実施され、東三河地域の関係者が連携して継続的にバス利用促進に取り組まれていることを大変評価します。                      ・名鉄西尾・蒲郡線や市内路線バスの利用促進イベントやPR活動を積極的に実施されたこと確認しました。                      ・各地区ごとの協議会で主体的に利用促進・事業改善を検討し、運行日の増加に結び付けたこと等を評価します。</p> <p><b>○期待する取組</b>                      ・西浦地区においては、令和4年度に地区協議会が立ち上がり、今後の地域運行について協議が進められていることから、地域の移動ニーズを適切に検証し、既存公共交通と調和の取れた利便性の高い運行を目指すことを期待します。                      ・名鉄西尾・蒲郡線の存続活動や支線バスに係る地元協議会の取り組み等の市民による積極的な公共交通の運行維持及び利用促進活動を引き続き積極的に推進することを期待します。                      ・支線バスの運行について利用実態、目標、評価について地域と共有しながら進め、利用者数や収支率など達成可能性、結果の値と評価について各地域の実態に即して行われることを強く期待します。また、支線バスの乗継ぎ利便について確認を進められることを期待します。</p>	<p><b>○地域公共交通計画に基づく事業推進</b>                      令和3年6月に策定した交通計画に基づき事業推進を図る。計画に定めたPDCAを実施し、適切な進行管理を行う。</p> <p><b>○広域連携</b>                      東三河地域の関係者との連携事業を継続実施している。</p> <p><b>○名鉄西尾・蒲郡線</b>                      R5年度も「赤い電車に乗って歩こう！ぶらりんウォーク」、「復刻塗装イベント」などの利用促進活動を継続して実施。</p> <p><b>○支線バスの取組</b>                      支線バスの各地区の協議会を開催し、停留所別利用実績を共有し、利用促進・事業改善の検討を地域主導で行っている。当該検討を法定協議会にて確認・連携し、事業運営を進める。</p> <p><b>○交通空白地対策</b>                      西浦地区での事業計画策定において路線バス事業者と調整を行い調和のとれた計画案を策定し、交通会議で審議した。塩津地区では、勉強会を開催し、地域のニーズと地区協議会の設置意向を確認し、カバリエリアの拡大を進めている。</p> <p><b>○バス利用促進対策</b>                      公共交通マップ（R5/4版）を作成・配布し、支線バス・路線バスの使い分けや乗継利用の周知に活用する。バス展示PRや乗り方教室等地道な周知活動を継続。</p>	<p><b>■全体：市交通会議でのPDCA</b>                      左記の事業評価を、当該資料を用いて市交通会議で確認する。また、交通計画で盛り込んだPDCAを行う。</p> <p><b>○名鉄西尾・蒲郡線の活動</b>                      市民まると赤い電車応援団や事業者等と連携し、名鉄を活用したイベント創出などの利用促進活動を継続して実施していく。</p> <p><b>○路線バスの利用改善策</b>                      便数・利用者数の少ない系統をはじめ、市内交通ネットワークの見直し検討協議を進めたい。</p> <p><b>○支線バスの取組</b>                      地区協議会・連携協議会等で支線バス事業のモニタリングを実施し、利用促進活動や利便性向上のための路線の見直し等の検討を進める。</p> <p><b>○交通空白地対応</b>                      西浦地区での新規事業化、塩津地区での協議組織の組成、運行計画策定を進める。</p> <p><b>○資源の総動員化</b>                      ラグーナシャトルバスの市民利用等、移動サービスの総動員化を検討する。</p>

<p>直近の二次評価結果 (令和4年3月)</p>	<p>事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)</p>	<p>今後の対応方針</p>
<p>&lt;令和4年3月10日付通知&gt;  <b>○評価できる取組</b>                      ・支線バスの各地区の協議会で各地区の状況に応じた利用促進・改善事業の検討していること、既設のコミュニティバスでカバールできていない地区等でも勉強会を開催するなど地域主導で検討を行い、法定協議会で吸い上げ、検討・確認を行っていることを評価します。                      ・各地区協議会と法定協議会が連携して新たな支線バスの運行（大塚地区、三谷地区）や交通空白地へのルート延伸による交通空白地対策を進めたことを評価します。                      ・東三河地域の関係者が連携した利用促進策が継続して実施されたことが確認できました。</p> <p><b>○期待する取組</b>                      ・1日乗車券の導入等により、コミュニティバスだけでなく市内を運行するバスへの乗り継ぎの利便性向上、利用者増加につながる取組に期待します。                      ・停留所ごとの乗降者数の分析、評価による議論や乗車体験を促す利用促進策の実施等の取組みに期待します。                      ・名鉄西尾・蒲郡線について、引き続き名鉄や関係自治体と連携し、観光需要と通勤需要、双方に対応した取組を進めるよう期待します。                      ・支線バスについて、地域が積極的に利用促進の取組を行うことを期待します。</p>	<p><b>○1日乗車券導入等によるバス利用促進</b>                      ・電車バス共通のフリーパス販売企画を名鉄、名鉄バスと協働して新たに実施。また、イベント等で乗車体験を伴う利用促進、PRを継続して実施。                      ・1日乗車券については、現路線の維持が課題となり、バスと競合しうる取組みに対して協議未実施。</p> <p><b>○支線バスの取組</b>                      ・支線バスの各地区の協議会を開催し、停留所別利用実績を共有し、利用促進・事業改善の検討を地域主導で行っている。三谷地区では、停留所の見直しが行われ利用者増加につながった。                      ・地区ごとに公民館での会合や高齢者施設での出前講座、実車を見ながらの乗り方講座などを実施。                      ・西浦地区で地域協議組織を設立し支線バスの新規導入協議を開始。                      ・西部地区支線バスにて、ルートの延伸及び停留所見直しを検討協議、塩津地区北部の交通空白地カバーを予定。</p> <p><b>○名鉄西尾・蒲郡線の活動</b>                      ・対策協議会、活性化協議会を通して2市及び名鉄と連携して取組み推進。貸切列車企画や車内への絵画作品の展示など新たな事業を展開し、話題性あるPR事業を実施。</p>	<p><b>■全体：市交通会議でのPDCA</b>                      左記の事業評価を、当該資料を用いて市交通会議で確認する。また、新交通計画で盛り込んだPDCAの仕組みを通して計画的にPDCAを行う。</p> <p><b>○路線バスの利用改善策</b>                      ・利用者増加につながるよう1日乗車券の導入等乗り継ぎ促進施策について協議検討を進める。                      ・利用者数の回復状況を見ながら、現在の減便の状態から便数をコロナ前に戻していく検討を進めたい。</p> <p><b>○支線バスの取組</b>                      ・地区協議会で支線バス事業のモニタリングを継続実施し、利用促進活動や1日乗車券の導入等相互利用の方策の検討を進める。</p> <p><b>○名鉄西尾・蒲郡線の活動</b>                      ・関係者との連携事業を継続し、新規イベントの創出など沿線の魅力向上、利用促進を進める。</p> <p><b>○交通網の強化</b>                      ・西浦地区での新規導入を進め、塩津地区等残る交通空白地での取組拡大を進める。あわせて、乗用タクシー活用についての検討を進める。</p>

## 6.計画・評価の推進体制

### <PDCAの進め方>

- ・地域公共交通計画の進行管理は、計画期間の5カ年を通してPDCAを行う。
- ・各年度は、地域公共交通会議において各年度事業の計画を設定し、事業の進捗状況と計画の数値目標等(利用者数・カバー率)を通して、計画の進捗を評価する。

### <協議会の開催状況>

- ・年間3回のペースで開催。
- ・交通計画を策定、年度事業の協議、事業進捗を評価・確認を進めている。



### 回数 (実施日)

- 36回 (R4/9/26)
- 37回 (R4/12/21)
- 38回 (R5/3/23)
- 39回 (R5/6/27)

### 進捗管理に関する協議事項

- ・西浦地区の協議状況の報告
- ・北部地区空白地対策の報告
- ・補助金の自己評価
- ・三谷、大塚地区事業継続協議
- ・北部地区接続タクシージャパン協議
- ・R5事業計画、予算案の協議
- ・R4確保維持改善事業の二次評価結果
- ・交通計画の事業進捗の確認
- ・R6生活交通確保維持改善事業計画
- ・西浦地区支線バス運行計画検討

### 実施内容

- ・ライダーシステムの取り組み状況の報告、協議。
  - ・中部様式等の自己評価の協議。
  - ・ライダーシステム事業継続、空白地対策 (タクシー) 等協議。
- R5年度の事業計画の協議。R4二次評価結果を共有。
- 交通計画の進捗状況の評価を実施。R6補助事業計画の協議。